

大阪市立大学の建築を 「見る」×「語る」



大阪市立大学 大学史資料室 所蔵

大阪市立大学杉本キャンパスは、1931年～1934年にかけて前身の大阪商科大学として整備されました。国の登録有形文化財である1号館など4棟が、今も使い続けられています。これらは、世界を席卷した初期のモダニズム建築運動の史跡であり、現在までのさまざまな物語を伝える「生きた建築」でもあります。そんな建築を「見る」。そこから大阪市立大学を大いに「語る」。多分野の教員が集い、建築から知のネットワークを築きます。

2016年11月4日(金)

【キャンパスツアー】 15:30～17:00

大阪市立大学の建築を「見る」 25名 (要申込・抽選)

参加費無料

解説：倉方俊輔 (工学研究科都市系専攻准教授)

※詳細及び申し込み方法は裏面へ

【トークセッション】 18:30～20:00

大阪市立大学の建築を「語る」 300名 (当日先着)

参加費無料

場所：大阪市立大学 田中記念館ホール

※詳細は裏面へ



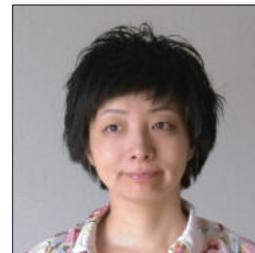
嘉名光市
(工学研究科)



北村昌史
(文学研究科)



倉方俊輔
(工学研究科)



小池志保子
(生活科学研究科)



安竹貴彦
(法学研究科)

主催：公立大学法人大阪市立大学 (大阪市 住吉区杉本 3-3-138)

協力：大阪市立大学同窓会

大阪市立大学の建築を **見る** × **語る**

2016年11月4日(金)

【キャンパスツアー】 15:30~17:00

大阪市立大学の建築を **見る** 25名 (要申込・抽選)

大阪商科大学のキャンパスとして整備されたモダンで品格ある校舎は、大大阪時代の理想の反映と言えます。現役の1号館(登録有形文化財)など、普段は入れない建物の裏側も含めてご案内します。

解説: 倉方俊輔 (工学研究科都市系専攻准教授)

- お申し込みは「往復はがき」または「Eメール」にて
お願い致します
- ・ 申込先 ————— 大阪市立大学 プロジェクト マネジメント オフィス
 - ・ 住所 ————— 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
 - ・ 電話 ————— 06-6605-2068
 - ・ メールアドレス — pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp
 - ・ 申込可能人数 — 2名まで (ただし中学生以上)
 - ・ 記入内容 ————— ①氏名 (2名の場合は2名のお名前) ②住所 ③電話番号
※返信用はがきには返信先住所、お名前を記入願います。
 - ・ 申込締切 ————— 2016年10月19日(水) 必着

【注意事項】

- 抽選結果はEメールまたは返信はがきにて通知します。
- ご応募時に記入いただいた個人情報、本学にて適切に取り扱い、目的外の使用は致しません。
- ツアーでは塔屋を含め階段のみで昇降が必要となる個所がございます。エレベータ等はありませんのでご了承の上、お申し込みください。

【トークセッション】 18:30~20:00

場所: 大阪市立大学
田中記念館ホール

大阪市立大学の建築を **語る** 300名 (当日先着)

建築の魅力、そして大阪市立大学の意味とは? 多様な学部や学科を擁する本学らしく、5つの分野の教員が一堂に会するトークセッションです。さまざまな視点から、大阪市立大学の建築について語り、建築について読み解きます。

嘉名光市 (工学研究科都市系専攻准教授)

専門は都市計画・都市デザイン。生きた建築ミュージアム大阪実行委員会委員。著書に『都市を変える水辺アクション 実践ガイド』等。

北村昌史 (文学研究科世界史学教室教授)

専門はドイツ近代史。ドイツの建築家ブルーノ・タウトが設計した住宅地を題材に、ヴァイマル期ドイツの社会史に取り組んでいる。

倉方俊輔 (工学研究科都市系専攻准教授)

専門は日本近現代建築史。生きた建築ミュージアム大阪実行委員会委員。著書に『大阪建築 みる・あるく・かたる』等。

小池志保子 (生活科学研究科居住環境学講座准教授)

専門は居住空間設計。豊崎長屋の再生でグッドデザイン賞受賞ほか。11月12-13日には長屋を暮らし開きするオープンナガヤ大阪を開催。

安竹貴彦 (法学研究科教授、大学史資料室長)

専攻は日本法制史。1982年大阪市立大学法学部入学。2002年大阪市立大学大学院法学研究科教授。2013年より大学史資料室長。

問合せ: 06-6605-2041

公立大学法人大阪市立大学

住所: 大阪市住吉区杉本 3-3-138

JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東口すぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

